

【執筆要領】

1 入稿は Word 形式のファイルで行うこと。ただし特殊なソフトを使用しているため PDF 形式でなければ不都合が生じる場合は、PDF 形式も認める。

2 見出しは、大見出し（漢数字一、二……）、中見出し（アラビア数字1、2……）、小見出し（①、②……）を用い、必要な場合にはさらに小さな見出し（i、ii……）をつけることができるが、章、節、項などは使わないこと。

3 注は、文末に（1）、（2）……と付す。

4 引用・参考文献は、以下のように示すこと。

①洋書単行本の場合

著者名、タイトル（イタリック）、出版社、発行年、を明記する。
なお、邦訳書を併記する場合は、カッコを付して③の要領で示す。

（例）Habermas, J. *Legitimationsprobleme in Spätkapitalismus*.
Suhkamp, 1973（エルゲン・ハーバーマス『後期資本主義における正統化の問題』山田正行・金慧訳、岩波文庫、二〇一八年）。

②洋雑誌掲載論文の場合

著者名、タイトル、掲載誌（誌名イタリック）、および巻・号等、発行年、を明記する。

（例）Tokai, F. "Lukács and Hungarian Culture". in *The New Hungarian Quarterly*, vol. 13, no. 47, 1972.

*編者掲載論文等の場合も、同様に示す（編者の示し方は①に準じる）。

（例）Pocock, J. G. A. "Theory in History: Problems of Context and Narrative". in *The Oxford Handbook of Political Theory*. (eds.) J. S. Dryzek et al., Oxford University Press, 2006.

③和書単行本の場合

著者名およびタイトル（「」）、出版社、発行年、を明記する。
（例）丸山眞男『現代政治の思想と行動』増補版、未來社、一九六四年

④和雑誌掲載論文の場合

著者名およびタイトル（「」）、掲載誌（誌名「」）、および巻・号等、発行年、を明記する。

（例）坂本慶一「ブルードンの地域主義思想」、『現代思想』第五卷第八号、一九七七年

*編者や書掲載論文等の場合も、同様に示す（編者の示し方は③に準じる）。

（例）福田有広「共和主義」、「デモクラシーの政治学」福田有広・谷口将紀編、東京大学出版会、二〇〇二年

5 引用・参考文献として欧文文献を示す場合を除いて、原則として数字は漢数字を使う。

6 「」や「。」また「」（）等の括弧類は全角のものを使う。
校正は印刷上の誤り、不備の訂正のみにとどめ、校正段階での新たな加筆・訂正は認めない。

- 8 『政治思想研究』は縦組みであるが、本要領を遵守していれば横組み入力でも差し支えない。
- 9 「書評」および「学会研究大会報告」は、一ページの字数が二九字×二四行×二段（すなわち二九字×四八行）という定型を採用するので、二九字×〇行という体裁で入力する。
- 10 その他、形式面については第六号以降の方式を踏襲する。